

みずほCustomer Desk Report 2019/08/02 号(As of 2019/08/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.27
TKY 9:00AM	108.83	1.1072	120.49	1.2151	0.6846
SYD-NY High	109.32	1.1096	120.70	1.2170	0.6868
SYD-NY Low	107.25	1.1027	118.92	1.2080	0.6796
NY 5:00 PM	107.36	1.1085	118.99	1.2127	0.6802
NY DOW	26,583.42	▲ 280.85	日本2年債	-0.1900	2.00bp
NASDAQ	8,111.12	▲ 64.30	日本10年債	-0.1300	3.00bp
S&P	2,953.56	▲ 26.82	米国2年債	1.7460	▲12.01bp
日経平均	21,540.99	19.46	米国5年債	1.6919	▲12.96bp
TOPIX	1,567.35	2.21	米国10年債	1.9012	▲10.54bp
シカゴ日経先物	21,045	▲ 330	独10年債	-0.4505	▲0.60bp
ロンドンFT	7,584.87	▲ 1.91	英10年債	0.5930	▲1.45bp
DAX	12,253.15	64.11	豪10年債	1.1955	▲0.50bp
ハンセン指数	27,565.70	▲ 212.05	USDJPY 1M Vol	6.22	1.16%
上海総合	2,908.77	▲ 23.74	USDJPY 3M Vol	6.57	0.77%
NY金	1,432.40	▲ 5.40	USDJPY 6M Vol	6.66	0.58%
WTI	53.95	▲ 4.63	USDJPY 1M 25RR	-1.43	Yen Call Over
ORB指数	172.80	▲ 5.72	EURJPY 3M Vol	7.23	0.71%
ドルインデックス	98.37	▲ 0.15	EURJPY 6M Vol	7.37	0.59%

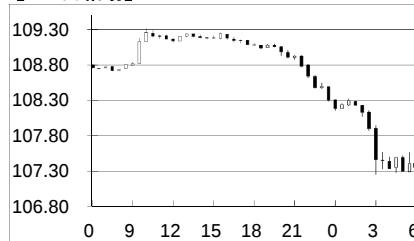
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月1日	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	7月 43.2	43.1
	21:30	米 新規失業保険申請件数	27-Jul 215k	214k
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	7月 50.4	50.1
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月 51.2	52.0
	23:00	米 建設支出(前月比)	6月 -1.3%	0.3%

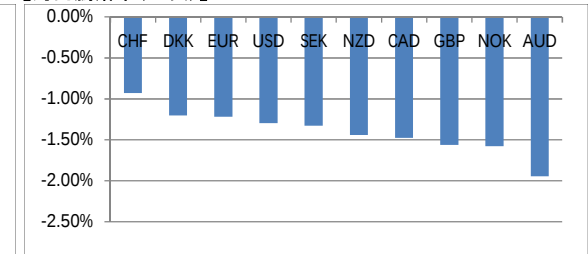
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月2日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 0.3%	0.1%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	6月 -0.3%/0.8%	-0.1%/1.6%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 0.3%	-0.3%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 165k	224k
	21:30	米 失業率	7月 3.6%	3.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.2%/3.1%	0.2%/3.1%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$54.6b	-\$55.5b
	23:00	米 製造業受注(前月比)	6月 0.7%	-0.7%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	6月 -	2.0%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	6月 -	1.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-108.00	1.1020-1.1120	117.50-120.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場はアジア時間に上昇の後、海外時間に大幅下落。31日に実施されたFOMCが市場予想ほどハト派寄りな内容とならなかったことで、年内の利下げ観測が後退し、ドル全面高となる展開の中、アジア時間には109円台迄上昇。その後、海外時間に発表された米ISM製造業景況指数が市場予想を下回ったことに加え、トランプ大統領が新たに対中間税を課すと発表したことで、リスクセンチメントが悪化。米株安、債券高の展開となる中、ドル円相場も107円台前半まで下落した。本日のドル円相場も上値の重い展開を予想する。昨日のトランプ大統領の追加対中間税の発表、米製造業の減速懸念、利下げ観測の後退とリスクセンチメントを冷やす材料が相次いだことで、リスク資産が売られやすい地合いが継続するものと思われ、ドル円相場は軟調地合いが継続するものと思われる。

東京	東京時間のドル円は108.83レベルでオープン。前日のFOMCを受けたドル買いの流れが継続し、仲値にかけてストップスを巻き込み一気に109円を抜け109.32まで上昇した。ただその後は上値重く109.20を挟んで狭いレンジでの推移となった。結局109.25レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.25レベルでオープン。約一か月振りの高値圏で推移するなかで、ドル売り・円買いが優勢となり、再び108円台まで売られた。結局108.93レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.2120レベルでオープン。正午に政策金利の発表を控え、早朝は狭いレンジで推移した。同発表直前には一部の利下げ期待からドル売りが一時優勢となり、レンジ幅を抜けると1.2085まで下落したが、すぐ反発し、1.21台を回復。その後、英中銀が政策金利を0.75%で据え置くことが決定されたが、予想通りの結果になり、市場への影響はなかった。1.2114レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	NY市場のドル円は108.93レベルでオープン。朝方は米金利低下を背景にドルが売られ、FOMC後の上昇を全てはき出す。さらに米7月ISM製造業景況指数が予想を下回るとドル売りが加速し、一時108.16まで下落。その後、ダウ平均が一時300ドル超の上昇する中、108.33まで値を戻すが、午後にはトランプ大統領が19月1日から3000億ドル相当の中国製品に10%の関税賦課を発表すると、リスク回避の円買いが強まり107円台に下落。また、米10年債利回りが1.90%を割り込み、ダウ平均がマックス圏に沈む中、ドル売りも重なり、一時107.25をつける。売り一巡後は107.40近辺でもみ合い、107.36レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、前日のFOMC発表を受けたドル買いが進んだことや、欧州各国の7月製造業PMIが軒並み弱い結果だったことから1.10台前半まで下落し、1.1035レベルでNYオープン。朝方は一時1.1027まで下落する場面もあったが、米金利低下や予想より弱い米経済指標を受けたドル売りに1.1069まで上昇。午後にはトランプ大統領による追加関税の発表が伝わると、ドル売りが一段と強まり、1.1096まで高値を更新。終盤は小幅反落し、1.1085レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤(貴)・玉井